

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所属	社会学部	産業関係	学科
担当科目	産業関係論		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

- ・ 仕事内容は、春とほぼ同じです。
講義への出席とその準備の繰り返しです。
- ・ 感じたことは、春と違って、「こうすれば大丈夫。」というのがなんとなく分かるので、下回生と余裕を持って接することが出来るということです。
ただ、その反面、チューターとしての自分の行動に緊張感がなくなり、準備や講義を聴く姿勢が疎かになってしまいました。大きな反省点です。

また、春もしていたことがあってか、秋学期が始まるにあたってのチューターの活動に関する説明などがあまりなかったの（先生からの授業についての説明や、メールでの連絡は頂きました）、業務報告書など、書かなければいけないのかどうか良く分からなかったです。

あとは、強いて言うならば、教材などが必要な時に、事務室側が一括して購入して下さるのか、自分で準備するのかなど、統一しておいたら良いのではないかと思います。

感想としては、やっぱり慣れてしまっていてだらけてしまったので、春学期の反省点を共有し、秋はどうするかなどをチューター同士（他の科目も含めて）で話し合う場が学期始めにあれば良かったかなと思います。

とはいえ、一年間頑張りきれなかったのは個人的な問題ですので、環境のせいにしても仕方がないとも思います。

一年間ありがとうございました。

<今後のチューターまたは先生への提案>

- ・ チューター同士で交流することが、とても大事だと思います。
あとは、報酬を頂いていることも含め、ある程度の責任感を持って行動する必要があると思います。
また、そうやって一生懸命やれば、得るものがとても多い活動になるのだらうと思います。せっかくの貴重な機会なので、私のように無駄にすることなく、この機会を大切に、頑張っ
てほしいです。